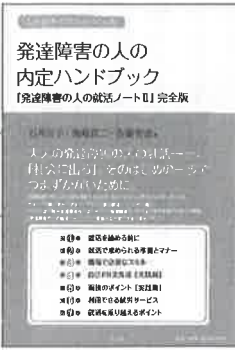


本書は、発達障害のある人が就活における内定を獲得するためのハンドブックである。

ただ、単なるマニュアルではなく、基本的な考えや意図や意義といった、そもそも論も丁寧に分かりやすく記述されている。その部分こそ、発達障害のある人が就活には欠かせない事項だということに改めて気付かせてくれる。

収入を得て生活していくことが基本的なスキルであることなど、「働く意味」についての説明から本書は始まる。もし働いていないとどうなるか、という問いについて具体的に考えていく。働いていないと、収入がない、所属するところがない、他の人との交流がない、将来の目標がない……。次に、「やりたいこと」と「できること」についての丁寧な説明が続く。現実の自分を客観的に見つめて、夢と現実のギャップを埋めていき、就労先を選んでいくことの大切さが語られる。



人材紹介のプロがつくった
発達障害の人の内定ハンドブック

石井京子、池嶋貫二、佐藤智恵 著
1944円 弘文堂
☎03-3294-4801

仕事を自分では選べない、というこども。そして、共に働く人々が、それぞれ自分とは異なる考えや行動をし、さらに、仕事のペースも人によって違うということを知っておくことも大切である。

これらの基本的な事項に続いて、ブラック企業の見分け方、メール利用時の注意事項、身だしなみ・服装、面接試験の対応方法、そして、履歴書・職務経歴書の書き方など続く。

本書に記載されている、大人になった発達障害のある人が、就活に向けて取り組むべき事項・配慮すべき事項は、小中学校や高等学校の教員が知っておけば、そのような将来に向けて今の段階・年齢でやっておくべきことが見えてくるだろう。

(筑波大学教授・柘植雅義)



「あきらめなければ夢は必ず実現する」。よく耳にする言葉だが、その言葉に説得力を持たせるためには、信頼性の高い事実の裏付けが不可欠となる。



好奇心を“天職”に変える 空想教室

植松 努 著
1350円 サンクチュアリ出版
☎03-5775-5192

機作りに熱中し、それが出発点となって大学では流体力学を学び、いまは手作りのロケットを打ち上げて宇宙開発事業を推進していることを紹介し、夢を追いつけてきた人生を浮き彫りにする。

さらには、粘り強く自分の頭で考えることの重要性を指摘し、「思い描く」とか「思い続ける」とか、さまざまな視点から思いを具現化する方法を示唆し、いま世界が求めているのはだれもがやったことのないことに挑戦する人間であり、そうした人間になっただけで期待のエネルギーを送るのである。

本書は、中学1年以上で習う漢字にはルビがふつてあるので、進んで子どもに読ませたい本であるが、大人にもぜひ推薦をしたい。大人もまた、夢を失わず、希望に満ちた社会を築くために大いに力を発揮してほしいと願うからである。

(元川崎市立小学校校長・北村清)